

県所有船舶更新に関する民間活力導入可能性調査業務仕様書

1 業務名

県所有船舶更新に関する民間活力導入可能性調査業務（以下「本業務」という。）

2 業務の目的

鳥取県（以下「委託者」という。）及び鳥取県教育委員会が更新を予定している、海洋実習船「若鳥丸」の整備・運営について、民間の資金、経営能力等を活用するPPP/PFI手法の導入可能性調査を実施する。併せて試験船「第一鳥取丸」の整備・運営へのPPP/PFI手法の導入検討に必要な情報収集を行う。

3 業務の内容

PPP/PFI手法導入可能性調査

(1) 事業の前提条件の整理

ア 「若鳥丸」「第一鳥取丸」の利用上の制限及び利用状況等の整理
（委託者が資料を提供）

イ 本事業に関するこれまでの検討内容の確認（委託者が資料を提供）

ウ PPP/PFI手法による事業化に向けた条件・検討課題の検討

(2) PPP/PFI手法に関する検討

ア 事業方式・事業形態・事業期間の検討（PFI手法等）

イ 業務範囲の検討（設計・整備・維持管理・運用、他県との共同整備等）

(3) 民間事業者（地元事業者を含む）の参入可能性等調査（マーケットサウンディング）について以下のとおり参入意向のある民間事業者の有無、希望する業務範囲などについて市場調査を実施する。

ア 整備計画及び想定手法等の整理

イ 事業化に向けた条件・課題の整理

ウ 参画意向の把握（書類送付によるアンケート調査を実施の上、参画意向が高い事業者へのヒアリング実施）

(4) PPP/PFI手法導入可能性の評価

マーケットサウンディングの結果を踏まえ、選択可能な民間活用の手法を絞り込み、想定される事業期間を設定の上、VFMの算定を実施する。

ア 民間事業者サウンディング結果の精査

イ 従来手法とPPP/PFI手法との定量比較評価（VFM評価）

ウ 定性的評価

エ PPP/PFI手法による事業実施に向けた総合的評価、検討課題の整理

オ（PPP/PFI手法以外が適切な事業手法と評価される場合）事業実施に係る基本方針のとりまとめ

4 業務期間

契約締結日から令和4年9月30日まで

5 成果品

成果品は以下のとおりとする。

- (1) 中間報告書 (A4版) 15部…提出期限：令和4年6月30日

- (2) 業務報告書 (A4版) 15部…提出期限：令和4年9月30日
- (3) 業務報告書概要版 (A3版) 15部 … 提出期限：令和4年9月30日

上記成果品については、電子データも電子媒体（CD-R又はDVD-R 2枚）に格納の上、提出すること。なお成果品には報告書の編集可能なファイル、VFM計算に使用した電子ファイルを含む。

6. 納入場所

鳥取県総務部行財政改革局資産活用推進課（鳥取県鳥取市東町1丁目220番地）

7. その他

- (1) 業務実施にあたっては、委託者と十分に連携を図ること。
- (2) 仕様書に定めのない事項又は疑義が生じた場合は、その都度、委託者と協議して決定するものとする。
- (3) 海洋実習船及び試験船更新をPPP/PFI手法により実施することが決定された場合において、本業務の受託者が整備事業者の一員もしくはアドバイザーとして参画することは差し支えないものとする。
- (4) 関係設備の現地踏査が必要な場合は、必要に応じて委託者が協力するものとする。
- (5) 完了報告及び検査
受託者は、本件業務を完了したときは、完了の日から10日以内に完了報告書を委託者に提出し、委託者の検査を受けるものとする。

【参考】

1 海洋練習船「若鳥丸」の整備検討状況

(1) 想定整備概要

	代船	(現行の船舶)
総トン数	400トン	516トン
長さ	約49m前後	57m
幅	9.0m	9.5m
最大搭載人員	49名	68名
航海地域	沿岸、近海（非国際航海）	沿岸、近海、遠洋（国際航海）
建造費（想定）	約19.3億円	約15億円
運営費（点検・修繕）	15年間 約8億円	19年分 約16億円

(2) スケジュール

	R3	R4	R5	R6	R7	R8
PFI での建造	一次検討	導入可能性 調査 事業者選定 準備 設計	事業者選定 準備 選定手続 設計	建造	建造 竣工	
				建造	建造	建造 竣工
				今後の手続きの状況によりR8竣工 となる可能性もある		
従来型 手法 (直営) での建造	一次検討	設計	設計	建造	建造 竣工	

(3) 財源

(1) 国庫補助

- ・ 建造費の1/3（実際の建造費とトン数あたり単価によって算出された建造費を比較して低額な金額）
- ・ 建造費が対象となり、設計費等は補助対象外

(2) 起債

内容	事業名	充当率	交付税措置
委託料	教育・福祉施設等整備事業 一般補助施設等	75%	なし
工事費	公共事業等	90%	充当率90%のうち財源対策分 40%の1/2

試験船「第一鳥取丸」の整備検討状況

(1) 想定整備概要

	代船	(現行の船舶)
総トン数	199 トン	199 トン
長さ	43.05m (登録長 35.3m)	43.05m (登録長 35.3m)
幅	7.60m	7.60m
乗組員	11 名	11 名
航海地域	浜田沖～鳥取沖、北緯 38 度 40 分	浜田沖～鳥取沖、北緯 38 度 40 分
建造費 (想定)	約 1 8 億円	約 1 0 億円
運営費 (想定) (人件費除き)	5. 9 億円 ※うち ドック代 4. 3 億円 燃料費 1. 6 億円	1 7. 5 億円 ※うち ドック代 1 5. 9 億円 燃料費 1. 6 億円

(2) スケジュール

	R3	R4	R5	R6	R7	R8
P F I での建造		一時検討 導入可能性 調査 事業者選定 準備	設計 事業者選定 準備 選定手続	建造	建造 竣工	
従来型 手 法 (直営) での建造		入札 設計	設計	入札 建造	建造 竣工	

(3) 財源

(1) 国庫補助 なし

(2) 起債

内容	事業名	充当率	交付税措置
	一般事業債	75%	0%